

第6学年3組音楽科学習指導案

令和7年10月14日(火)第5校時

音楽室 在籍児童 27名

指導者 教諭 大谷里美

1 題材名 曲想の変化を楽しみ、歌声をひびかせよう

2 題材について

(1)児童の実態

本学級の児童は歌唱に意欲的に取り組む児童が多い。一学期の「つばさをください」の学習ではどのような思いを込めて、どのように歌うかという課題に対して個人で考えを持ったり友達と意見を交わしたりしながらパートごとに表現の工夫を話し合っていた。体全体でリズムをとったり声を重ねる喜びを感じたりすることができる児童が多くいる。一方で音程を正しくとることができなかつたり、歌詞の内容を深く考えることが苦手であったりすることで意欲的に学習に取り組むことができない児童もいる。11月に行われる市内音楽会にむけてクラス全体で一体感をもって歌うことが本学級の課題だと考える。

(2)教材観

本教材「ペガサス」は未来へ希望をもち羽ばたこうとする前向きな歌詞が、小学6年生の子供たちにとって自分の思いを重ねて歌うのに適した教材である。また、斉唱部分と合唱部分の歌詞の内容や旋律の動き、重なり方や強弱などに注目しながら子供たち自身で歌い方を工夫する学習に取り組むことができる教材である。速度記号や既習事項を手掛かりに、大切に歌いたい部分を見つけ、その思いを表情豊かに歌うことで表現の工夫を考えることができる教材である。

(3)指導観

この曲では自分自身の未来への思いを歌に乗せて表現し、明るく響く声で歌えるようにしたい。指導をするうえで次のことを行う。①歌にどのような気持ちを込めて歌うのか友達と交流させ、明確にする。②大切にしたい部分や言葉を見つけ、どのように工夫をすると表現できるのかを考え、オクリンクプラスを使って共有する。③友達と交流しながら表現の仕方を考えることで、表現を工夫して曲を仕上げる喜びや、それを表現するのに必要な技能を身につけさせたい。

(4)学習指導要領との関連について

本題材では学習指導要領のA表現(1)歌唱ア、イ、ウ(イ)(ウ)B鑑賞ア、イを指導するものとする。

3 題材の目標

(1)曲想及びその変化と音色や旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱の技能を身に付ける。

〈知識及び技能〉

(2)音色、速度、旋律、強弱、フレーズ、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。〈思考力、判断力、表現力等〉

(3)曲想や歌詞に込められた気持ちを味わいながら、歌声に気を付けながら表現を工夫したり、曲

想の移り変わりを味わいながら聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組み、友達と声を合わせて歌うことを楽しむ態度を養う。〈主体的に学習に取り組む態度〉

4 教材について

- (1) 「ペガサス」 覚 和歌子 作詞/ 三宅 悠太 作曲
 (2) 「ハンガリー舞曲 第5番」 ブラームス 作曲/シュメリング 編曲

5 学習指導要領の指導事項と[共通事項]ア・イの関連と具体的な学習活動

指導事項	歌唱ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと。 歌唱イ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解すること。 歌唱ウ(イ) 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けること。 歌唱ウ(ウ) 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けること。 鑑賞ア 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くこと。 鑑賞イ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解すること。
[共通事項]	ア 音色、速度、旋律、強弱、フレーズ イ 反復、変化
具体的な学習活動	・歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫しながら自分たちの思いや意図を反映させた歌い方を友達と考え、工夫する。 ・音楽を形づくっている要素の関わり合いに注目しながら、曲想やその変化を感じとって音楽を聴き、友達と話し合うことで音楽を聴くことの喜びを深めていく。

6 題材の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①知曲想と音色や旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。(歌唱) ②技思いや意図に合った表現にするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。(歌唱) ③知曲想及びその変化と、強弱などの音楽の構造との関わりについて理解している。(鑑賞)	①思音色、速度、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌唱) ②思速度、強弱、調、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の良さなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。(鑑賞)	①態曲想や歌詞に込められた気持ちを味わって、歌声に気を付けながら表現を工夫する学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(歌唱) ②態曲想の移り変わりを味わいながら、歌ったり聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしてい

			る。 (歌唱、鑑賞)
--	--	--	---------------

7 指導と評価の計画(6時間扱い)

時	○学習内容・学習活動	○指導上の留意点	知 技	思	態
1	○「ペガサス」の歌詞の内容を捉え、曲のテーマを考え、伝え合う。 ・範唱を聴いたり、歌詞を読んだりして曲のイメージを広げ、友達と伝え合う。 ・演奏順序を確認し、主な旋律を歌う。	○気に入った歌詞に印をつけ、その言葉から曲のテーマを想像することで歌詞の理解を深める。 ○楽譜を指でたどりながら演奏順序を確認する。	① 知 発言・記述		① 態 観察
2	○斉唱部分と合唱部分の曲想の違いを感じ取って二部合唱する。 ・自分の声の特徴やよさを踏まえたうえで自分のパートを選択する。 ・互いの声を聴きあいながら二部合唱をする。	○ピアノで副次的な旋律を弾いて、正しい音程で歌えるように補助する。 ○事前に確認した歌声チェックシートを活用して自分のパートを選択できるようにする。			
3 本 時	○曲のテーマに合った表現の工夫を考え、合唱する。 ・何も意識せずに歌った歌を録音し、自分で確認する。 ・グループごとにそれぞれの部分の表現の工夫を話し合い、ワークシートに記入する。	○曲想や歌詞の内容、強弱記号などに注目して表現の工夫を考えるようにする。 ○自分たちの課題点から意欲的に表現の工夫を考えられるようにする。 ○話し合ったことから自分が意識することをワークシートに具体的に記入する。		① 思 発言・記述	
4	○学級全体で表現の工夫を生かして、一体感をもって二部合唱をする。 ・パートごとにお互いの歌を聴き、良いところを伝え合う。 ・表現の工夫を意識した歌声を録音し、振り返りをするとともに市内音楽会へむけての意欲を高める。	○前時でワークシートに書いた事を、生かし、表現するようになる。 ○お互いに聴きあい、認め合う活動をもつことで自信をもてるようにする。 ○学級全体で表現の工夫をすることで、素晴らしい合唱となることを実感させ、市内音楽会への意欲を高める。	② 技 演奏聴取		
5	○「ハンガリー舞曲 第5番」を聴き、ア、イの曲想の違いについて話し合う ・音楽に合わせて体を動かしたり指揮の真似をしたりしながら聴き、曲想の違いを友達と話し合い、ワークシートに記入する。	○音楽に合わせて体を動かす中で速度や強弱の変化に気づけるようにする。 ○アとイの変化について友達と話し合い、多様な考えに触れて考えを深めるようにする。 ○感じたことを「速さ」「強さ」「調」「くりかえし」「変化」に結び付けて書くように伝える。	③ 知 発言・記述	② 思 発言・記述	



6	<p>○旋律の反復や変化、調などに気を付けて曲想の移り変わりを味わいながら聴く。</p> <p>・前時話し合ったことも加味して曲の良さや面白さについて理由とともにワークシートに記入する。</p>	<p>○前時で学習した曲想の変化も意識させながら、旋律の反復や変化、調、速度、強弱などを手掛かりにワークシートに記入させる。</p>			② 態 観 察 ・ 記 述
---	---	--	--	--	---------------------------------

8 本時の学習指導(3/6時間)

(1)目標 伝えたい思いを表現するために歌詞に合った表現の工夫をすることができる。

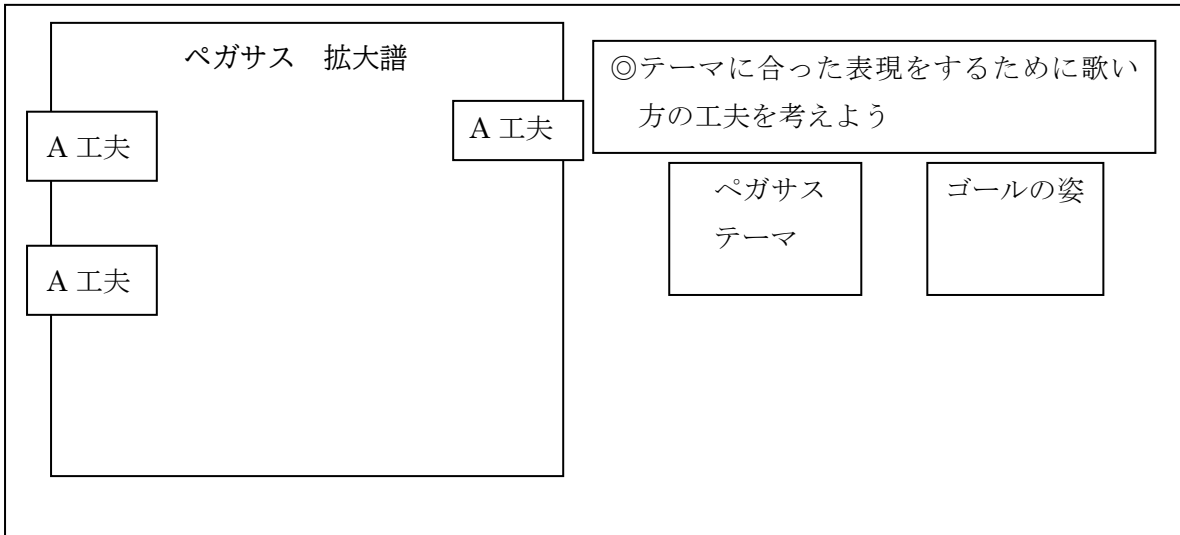
〈思考力, 判断力, 表現力等〉

(2)展開

時間	○学習内容 ・学習活動 T:発問	○指導上の留意点 ☆評価規準(評価方法)
5 8	<p>・発声練習をする。</p> <p>・前時で考えた曲のテーマに触れ、「ペガサス」1番を歌い、タブレットで録音をする。</p> <p>・本時の課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>テーマに合った表現をするために歌い方の工夫を考えよう。</p> </div>	<p>○お互いに見合って、良いところを伝え合い和やかな雰囲気を始められるようにする。</p> <p>○録音した歌声から自分たちで課題点を見つけられるように声かけをする。</p>
10	<p>T: 皆が考えた曲のテーマが更に聴いている人に伝わるようにするにはどのような表現の工夫をすると良いか考えていきましょう。</p> <p>○表現の工夫について考える。</p> <p>・グループごとにAの歌詞や強弱記号を手掛かりに楽譜に書き込みながら表現の工夫を考える。</p> <p>・それぞれが考えたAの表現の工夫を全体で共有する。</p> <p>・表現の工夫を意識してAを歌い、自分が意識したことをワークシートに記入する。</p> <p>・グループごとにBの表現の工夫を考え、楽譜に書き込む。</p> <p>・表現の工夫を意識してBを歌い、自分が意識したことをワークシートに記入する。</p> <p>・ワークシートに記入したBの工夫を全体に共有する。</p>	<p>○前時に考えた自分たちのゴールの姿を意識させる。</p> <p>○大切にしたい歌詞、強弱記号、響かせる旋律に着目しながら話し合いができるようにする。</p> <p>○表現の工夫を色紙に書き、拡大した楽譜に掲示していく。</p> <p>○工夫したことの良さを感じられる言葉をかけ、Bへの意欲を高める。</p>
35	<p>・キ「自由が見える。」を大切に歌う意識を共有する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「十分満足できる」状況(A)</p> <p>歌詞、強弱記号、旋律などを根拠として表情や歌う際の気持ちまでBのそれぞれの表現の工夫を考えて歌おうとしている。</p> <p><例>「歌詞○○○…」を△△のようにするために◆◆して表現したい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「おおむね満足できる」状況(B)</p> <p>歌詞、強弱記号に着目しBの表現の工夫を考えて歌おうとしている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「努力を要する」状況(C)になりそうな児童への支援</p> <p>「自分が一番伝えたい歌詞はどの部分かな？」</p> <p>「一番盛り上げて歌いたいのはどこの部分かな？」</p> <p>「あおぞら⇒色は？雲はある？どんな風景？」</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆思①曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。(観察・記述)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(態)①歌声に気を付けながら表現を工夫する学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(観察・記述)</p> </div> <p>○始めと比べて良くなった所に注目させることで、表現を工夫することの良さを実感し、次へとつなげる。</p>

- 最初から最後まで通して歌い、振り返りをする。
- ・最後の合唱を録音しそれを聴く。
- ・振り返りをオクリンクで記入し、ワークシートと共に提出する。

9 板書計画(ICT の活用)



オクリンクプラスで共同編集